一般社団法人

タウンスペース WAKWAK

2019 年度　事業報告

すべての人に居場所と出番がある社会、すべての人がSOSを発信でき、互いに支え・支えられる社会、新しい公共としての住民主体による「自立」「参加」「協働」による地域の再生と互いに絆を結び合えるつながりの地域社会をめざして以下のとおり事業を行いました。

今期は、下半期に起こった新型コロナウイルスの影響を受け、わくわく食堂をはじめ多くの事業が中止せざるを得ない状況になりました。また、法人の社会貢献事業を支える収益事業の柱の一つである講師派遣・視察受け入れが軒並み中止となり法人の財政面においても大きなダメージがありました。

## Ⅰ．法人運営事業

### 1）会員拡大

各種事業の場や広報活動を通じ、本法人の目的に賛同しともに活動を進めようとする正会員および賛助会員について以下の通りの会員数となりました。

| | 会員数 | 口　数 | 前年度会員数 | 口　数 |
|---|---|---|---|---|
| 正会員　（団体） | 1 | 5 | 1 | 5 |
| 〃　（個人） | 16 | 19 | 16 | 19 |
| 賛助会員(団体) | 1 | 1 | 4 | 5 |
| 〃　（個人） | 46 | 186 | 58 | 209 |
| 合計 | 64名 | 211口 | 79名 | 238口 |

### 2）理事会、社員総会および企画運営スタッフ会議の開催

#### ①理事会の開催

| 日時 | 場所 | 議案 |
|---|---|---|
| 第1回理事会 | 富田ふれあい | （報告案件） |

| | | |
|---|---|---|
| 5月30日（木） | 文化センター<br>研修室 | 第１号議案　2018年度事業報告承認について<br>第２号議案　2018年度決算報告について<br>第３号議案　監事監査報告<br>第４号議案　業務執行理事の報酬改定にについて |
| 第２回理事会<br>10月29日（火） | 富田ふれあい<br>文化センター<br>研修室 | <報告案件><br>第１号議案　2019年度上半期事業中間報告について<br>第２号議案　2019年度上半期中間決算報告について<br><議決案件><br>第１号議案　2019年度下半期事業予定承認の件<br>第2号議案　最賃の変更に伴うパート賃金の変更について |
| 第３回理事会<br>3月31日（火） | 社会福祉法人<br>つながり<br>サニースポット | <報告案件><br>第１号議案　2020年度事業計画案について<br>第２号議案　2020年度予算案について<br><議決案件><br>第１号議案　業務執行理事の役員報酬について<br>第２号議案　決算理事会・社員総会の日程について |

**②社員総会の開催**

| 日時 | 場所 | 議案 |
|---|---|---|
| 第１回<br>社員総会<br>5月30日（木） | 富田ふれあい<br>文化センター | 第1号議案　2018年度事業報告承認について<br>第2号議案　2018年度決算報告について<br>第3号議案　監事監査報告 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 第４号議案　業務執行理事の報酬改定にについて第１号議案　2017年 |
| 第２回<br>社員総会<br>3月31日（火） | 社会福祉法人<br>つながり<br>サニースポット | 第１号議案　2020年度事業計画案について<br>第２号議案　2020年度予算案について |

**③企画運営スタッフ会議の開催**

2019年度は理事・社員・運営スタッフ含め24名のメンバーでスタッフ会議を計3回開催しました。

① 5月30日　②10月29日　③3月31日

**３）経営・財務管理**

持続的な活動を担保していくための経営計画と適切な財務管理を行うと共に、社会貢献事業を安定的に支えていくため、富田地区の視察の受け入れや講師派遣を積極的に行い、また、チャリティグッズを導入するなど事業収入の増加を図りました。今期は、新型コロナの影響下、法人の社会貢献事業を支える収益事業の柱の一つである講師派遣・視察受け入れが軒並み中止となり法人の財政面においても大きなダメージがありました。

○2012年度決算（法人設立時）　7,973,202円

○2016年度決算　7,250,007円

○2017年度決算　13,870,719円

○2018年度決算（前年度）　17,202,945円

○2019年度決算（当年度）　15,116,794円(純利益172,611円)

**４）マイナンバー法施行にともなう個人情報管理**

2016年1月から実施されたマイナンバー制度に伴い、法人が取り扱う特定個人情報の範囲、安全管理措置に

ついて法人基本方針ならびに取扱い規定を定め、特定個人情報の取得・利用・保管等について厳正な事務に努めました。

**5）寄付金の状況**

**・事業指定寄付**　コミュニティ再生事業・学習支援事業・子どもたちの夕刻を支える場・児童養護施設等社会的養護の子どもたちのエンパワメント事業等に計 697,438 円の事業指定寄付を頂きました。

**・インターネット寄付**　日本財団が運営するクレジットカード決済のインターネットサービスである CANPAN サービスを通じ、計 187,908 円（手数料差引後）のご寄付を頂きました。

## Ⅱ．協働交流事業

**1）情報発信活動**

①情報誌「WAKWAK通信」の発行

情報誌「ＷＡＫＷＡＫ通信」を計３回（第21号・22号・23号）発行しました。

| | 内容 | 発行部数 |
|---|---|---|
| 21号 | （7月号）<br>・富田地区コミュニティ再生事業に本格的に着手します！<br>・富田地区コミュニティ再生事業未来にわたり住み続けたい町の姿を描く<br>・富田わくわく食堂第5弾を実施<br>・「阪急阪神　未来のゆめ・まち基金」第10回市民団体助成プログラム<br>・コミュニティの再生に大学生の声<br>・社会的企業の仕組<br>・知見・ノウハウを発信 | 各1500部 |

| | | |
|---|---|---|
| 22号 | （10月号）<br>・地域・家庭・学校・行政・大学・企業と協力しながらひとりぼっちのいない町をつくる！<br>・コミュニティ再生事業を本格スタート<br>・大学との協働　まちづくりに大学生の力を活かす<br>・地元学校園「ゆめみらい学園」との協働<br>・企業との協働　「SDGｓ」パートナーシップの実践<br>・富田富寿栄盆踊り大会開催<br>・社会的養護の子どものたちのバックアップ事業 | 各1500部 |
| 23号 | （2月号）<br>・「富田わくわく食堂（第7弾）」を開催します-食べる・遊ぶ・笑う子ども食堂 -<br>・わくわく食堂はＮＰＯ法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ（代表湯浅誠）とも<br>コラボ開催<br>・「未来にわたり住み続けたい町」へ多セクターとの協働で提案書を高槻市へ提出<br>・地域から広がる子どもの第三の居場所 - 高槻市民協働プラザ主催・ＷＡＫＷＡＫ共催<br>・府立高槻支援学校宿泊避難訓練に参加しました<br>・「子どもの貧困」学習会ご案内<br>・ボーダレスアート展を開催<br>・社会的養護の子どもたちへのボランティア・スタッフ研修が終了<br>・「未来にわたり住み続けたい街」冊子が完成 | |

②インターネットを活用した発信

「タウンスペースWAKWAK」HP（URL：http://wak2.jimdo,com）や「タウンスペースWAKWAK」Facebook ページの更新にも努め、日々の活動を常に発信するなど広く情報発信に努めました。

## 2）ネットワーク構築、他団体との協働

WAKWAKが実施する各事業において、地域社会とのネットワーク構築、市民活動団体相互および市民・事業者・行政との連携、協働促進事業について以下のとおり実施しました。

① さにすぽ夏祭り

日時：7月20日(土)　午前10時～午後3時

場所：知的障がい者福祉事業所サニースポット

内容：チャリティグッズ　ポストカード等販売

② 富田富寿栄盆踊り大会

日時：8月31日(土)　午後5時～9時

場所：富田富寿栄公園

実行委員団体として参加。

※共生食堂を同時開催

③ NPO協働フェスタ

日時：9月22日(日)　午前10時～午後3時

場所：生涯学習センター1F展示ホール

内容：展示「コミュニティ再生事業」と阪急阪神 HDD「SDG s トレイン」放映

④ フェスタ・ヒューマンライツ

日時：12月1(日)　午前9時半～午後3時

場所：富田ふれあい文化センター他

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示を行いました。

ボーダレスアート展の同時開催(12月1日～2日)。

⑤その他

ア．富田まち・くらしづくりネットワークおよび富田地域包括支援センター/コミュニテイケア会議、富田富寿栄住宅建替研究会、富寿栄連合自治会諸活動への参加を通して、地域福祉やまちづくり運動への参加と連携を図りました。

イ．市民公益活動サポートセンターの諸活動への参加を通して、市内NPO団体等との連携を図りました。

## Ⅲ．調査研究事業

### 1）学会発表

| | 事業名 | 日時 | 場所 | 発表内容 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 日本家庭福祉学会<br>第 20 回全国大会 | 6 月 1 日（土）<br>～2 日（日） | 立命館大学<br>衣笠キャンパス | 「子ども食堂における社会的不利を抱える子どもたちの包摂の仕組‐大阪府高槻市富田地区における子どもの居場所づくり事業の実践から‐」 |
| 2 | 関西教育行政学会<br>6 月例会 | 6 月 15 日（土） | 京都女子大学 | 「社会的企業がプラットフォームとなった子どもたちの包括的支援の可能性‐高槻富田地区一般社団法人タウンスペース WAKWAK における子どもの居場所づくり事業‐」 |

2）原稿の執筆

| | 雑誌名 | 発行 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの人権・反差別・平和を考える『はらっぱ』 | 公益社団法人子ども情報研究センター | 子どもの現場から<br>高槻富田地区「ひとりぼっちのいないまち」づくり |
| 2 | 雑誌『部落解放』 | 株式会社解放出版社 | 鎌田遵著『癒されぬアメリカ　先住民社会を生きる』本の紹介 |

3）研究会・科研プロジェクト等への参加

①子ども若者研究子ども・若者の「居場所」づくり研究への参画

・研究代表者　大阪大学教授　高田一宏

・趣旨　子ども・若者の「居場所」づくり・学習支援・「子ども食堂」などのフィールド調査を通じて、貧困や社会的排除に直面する子ども・若者への支援を持続的に行う政策・実践の課題をあきらかにする。

・プロジェクト期間：3 年間

・日時：4 月 29 日（月）・8 月 25 日（日）・12 月 21 日（土）・3 月 8 日（日）

② 学校づくり研究会

・主宰者　大阪大学教授　志水宏吉

・趣旨　学力格差など個々人の実践では対処できない課題にどう取り組むか、若い教員をどう育てるか、学力保障の取り組みをどう展開していくかという問題に対し、「学校づくり」という視点から考える場。

・日時：5 月 18 日（土）

③ その他

富田地区の研究を深めるべく大阪大学や近隣の大学の研究者や大学院生を富田地区の学校等へつなぐとともに、2019 年 9 月 20 日（金）大阪大学人間科学研究科と OOS 協定を結びました。

※OOS（大阪大学オムニサイト）とは：「共創知」を生み出す場をテーマに産官社学連携により、共生社会を創造していくための新たな仕組のこと。

## Ⅳ.新たな福祉と人権・協働のまちづくり事業

### 1）地域福祉グランドデザインづくり事業

#### ①未来にわたり住み続けたい町高槻富田地区コミュニティ再生事業

・趣旨：大阪北部地震後の災害支援から見えてきた課題をもとに、子ども・若者・高齢者など町に住む多様な人達の声（ニーズ）を拾い上げ、高槻市と協働し市営住宅の建て替えへとつなぎました。

ア．住宅の建て替え・長期的なコミュニティの再生に向け多様な層の声の集約

・住民の声：富田まち・くらしづくりネットワーク主催ワークショップ

8 月 2 日・11 月 19 日　　19 時～21 時（富田ふれあい文化センター）

・大学生の声：平安女学院短期大学「地域福祉原論」(5 月 28 日)・「社会調査の基礎」(12 月 10 日)、大阪人間科学大学「相談援助理論と方法」(7 月 22 日・「スクールソーシャルワーク論」(7 月 23 日) にゲストとして招かれた際にアンケートを実施。また、平安女学院大学「社会的養護内容」の際にもアンケートを実施。

・障がい者の声：高槻支援学校の教職員研修（8 月 28 日）に講師として招かれた際アンケートを実施

・子育て層の声：地元中学校区を対象にした PTA 人権研修（9 月 7 日）の際にアンケートを実施。

・外国籍住民の声：大阪大学留学生・地域在住外国籍住民（10 月～11 月）からアンケートを実施。

個別つぶやきひろい活動やワークショップ等で集約した住民の声及びアンケートを通して集約した多様な層の声を「市営住宅に対する要望」として富田まち・くらしづくりネットワーク等との連名により 2019 年 12 月に高槻市に提出しました。

**イ．公教育（四中校区ゆめみらい学園）との協働による子ども達の声の集約と町の機運の醸成**

・地元高槻市立富田小学校 4 年生の総合的な学習の時間「いまとみらい科」の取り組み「マイタウンミーティング」（5 月～3 月）を学校と協働して実施。

・9 月 10 日の 4 年生による住みやすい町の提案の取組では、地元自治会、関係諸団体、企業、大学関係者、PTA、高槻市創造部、ダイバーシティ研究所田村太郎氏を招き、子ども達が住みたい町を提案。

**ウ．大阪大学との連携のほか多職種連携の強化**

大学との連携では、これまでの平安女学院大学、人間科学大学、関西大学に加え、大阪大学と OOS 協定（共創知をテーマとした産官社学の連携の仕組）を締結、また、同大学の博士課程未来共生プログラム「公共サービスラーニング」の実習先となり 10 月より 2 月末にわたってインターン生を受け入れました。

**エ．富田地区未来にわたり住み続けたい町の提言書　冊子の作成**

昨年の「ほっとステーションつながり BOOK」に引き続き富田小学校 4 年生「マイタウンミーティング」の取り組みおよび多様な層の町に対する声を大阪大学志水宏吉研究室との協働の元で冊子化し町の提言書として作成しました。

オ．**高槻市「建替研究会」への参画**

富田まち・くらしづくりネットワーク等と連携しながら地域まちづくりに引き続き取り組みを行うとともに「建替研究会」に委員として参画しました。

**2）生きがいと居場所づくり事業**

**①ボーダレスアート事業**

ア．ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」の開催

日時および受講者数：前期開講：5月～10月（8月は休み）の月2回　11名受講

後期開講：11月～２月の月2回　９名受講

*新型コロナウイル感染拡大に伴い３月休講

場所：青少年交流センター2Fレッスンルーム

後援：高槻市・市教育員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会

イ．ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」の開催

日時：12月１日（日）～２日（月）　午前10時～午後5時(最終日4時まで)

場所：富田ふれあい文化センター

入場者数：193名

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示および「西淡路希望の家」美術部作品特別出展

### ３）ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業

#### ①地域支え合い事業

ひとりぐらし高齢者および高齢者世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に実行委員会立ち上げと「高齢者のお困りごと」訪問調査を実施いたしましたが、ボランティアサービス提供者の確保等の課題があり、事業スタートには至っていません。今後事業実施に向け協議を進めます。

#### ②障がい者グループホーム整備事業

ア．グループホーム「コラム富田」につづく女性用グループホームの整備検討

重度障がい者夜間支援型グループホーム整備については、2018年５月に富田地域内で男性7名入居のグループホーム「コラム富田」開設入居となりました。

2019年度は引き続き女性用グループホーム整備に向け社福つながり後援会家族会ひだまりによる2回のグループホーム見学会とあわせ、用地取得に向けた検討を進めてきました。

### ４）青少年・子育て支援事業

#### ① こどもの歩みバックアップ「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業」

生活保護受給および生活困窮世帯や家庭困難層等様々な課題を持つ中学生を対象に、学習支援を行うことで低学力の克服と地域における「貧困の連鎖」を防止する事を目的に2014年8月より学習支援事業を実施しています。

ア．学習支援教室わんぴーすの通年開催

生活困窮以外に発達障がい等で課題を持つ生徒のニーズも高く、教員OB・OG、大学生の講師体制の増

員を図る等により事業の円滑な実施に努めました。結果、中学3年生は全員希望の進路に進むことができました。

期間：5 月～3 月の毎週 2 回　月・水の午後 7 時～9 時

※例年 4 月からスタートをしていましたが個別支援をより丁寧にするため 4 月は全生徒および保護者の 3 者面談を実施しました。

※3 月の実施については新型コロナウイルスの影響はあったものの入試前ということもあり、社会福祉法人つながりサニースポットに会場を変更し実施しました。

場所：富田ふれあい文化センター２F 学習室１・交流室１・２

対象：中学生 10 名　※卒業した高校生も参加

参加費：12,000 円/月　※これまでの受講生・要支援家庭 6,000 円/月(教材費・保険代含む)

講師体制：教職員経験者 6 名および地域大学生 7 名のシフト制で実施

後援：高槻市・高槻市教育委員会・社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

イ．青少年相談事業並びに中学校等との連携

・青少年相談事業を通じた親支援も並行して実施

・生徒１人１人の特性や課題等について当該中学校との連携会議を概ね2～３か月に1回のペースで開催

ウ．わんぴーす夏休み中３合宿

・時期：8 月 23 日（金）～24 日（土）
・場所：樫田地区にある毛利先生別宅
・内容：受験勉強
　　農作業体験
・対象：中学 3 年生　3 名参加

## ②「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」

### ア．子どもたちの夕刻を支える場「ただいま食堂」

趣旨：ケア付き食堂をコンセプトに「一緒に食卓を囲むことを通じてつくられた信頼関係をもとに、家族のこと学校のこと、進路のことといった子どもの生活課題への対応を目指す」ことを趣旨に実施。

期間：5 月～3 月の毎週 1 回　水の午後 5 時半～7 時

場所：富田ふれあい文化センター 3 F 和室および料理教室

対象：わんぴーすを受講する中学生及びその兄弟、姉妹　　16 名が登録

参加費：子ども　100 円・高校生　300 円・大人　500 円

体制：民生委員ほか 6 名および大学生 6 名で運営

後援：社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

※今期より新たに丸大食品（株）から食材提供がスタート

### イ．富田版子ども食堂「富田わくわく食堂」

趣旨：共生食堂をコンセプトに「地域に住む多世代、子どもから高齢者まで多くの人たちがごちゃまぜに交わる交流拠点」を趣旨に開催。今期は、NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ（代表湯浅誠さん）の協力のもと、吉本工業株式会社・東京おもちゃ美術館等、地域・家庭・学校・行政・大学・企業など多セクター40 団体以上の協働で実施の予定でしたが新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

日時：2 月 22 日（土）11 時～15 時（中止）

テーマ：「未来にわたり住み続けたい町」

場所：富田ふれあい文化センターおよび社会福祉法人つながり

**ウ．子どもシェルター整備事業**

・目的：昨年、地域で虐待の状況や困難を抱えたまま生活をせざるを得ないケースに対する支援を目的に地元社会福祉法人と連携し地域に根づいた緊急時の避難先となる子どもたちの居場所の整備を行いました。今年度は引き続き、制度のはざまに陥りやすい子どもたちの支援を行いました。

**エ．子どもの貧困を学ぶ学習会の開催**

子どもの貧困や居場所づくりの必要性について市内外の理解のすそ野を広げるため、今期は高槻市市民公益活動サポートセンターと協働し実施しました。3 月にも続編となる講座の開催を予定しておりましたが新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

ｉ.「地域から広がる子どもの第三の居場所」

日時：12 月 14 日（土）午後 1 時～16 時半

場所：高槻市立生涯学習センター14 階 1401

内容：第 1 部「子ども食堂増加の背景にある子どもの貧困・第三の居場所の必要性」

タウンスペース WAKWAK 事務局長　岡本工介

「高槻市の子ども食堂の現状と課題」

平安女学院大学助教　荷出翠さん・短期大学生糸井菜々子さん・宮崎汀さん

第 2 部「高槻市内で子ども食堂を運営する団体のトークセッション」

国立成育医療研究センターアレルギーセンター研究補助　原純子さん

参加者：NPO・市民団体関係者・地域住民・市議会議員　　56 名

ⅱ.「誰一人取り残さない教育」　新型コロナウイルスの影響により中止

日時・講師：①3 月 3 日（火）　大阪大学人間科学研究科　教授　志水宏吉さん

②3 月 10 日（火）　大阪大学人間科学研究科　教授　高田一宏さん

場所：高槻市立富田ふれあい文化センター2 階研修室

**オ．子どもの居場所づくりレポートの作成**

これまでの当法人における子どもの居場所づくり事業について「子供の未来応援基金の助成金」を活用し「子どもの居場所づくりレポート」としてまとめました。

**③社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業**

ア．児童養護施設の子どもたちを対象としたプログラムの実施

虐待や一人親、障がいなどの社会的、経済的事由により児童養護施設に通う児童（社会的養護で暮らす子どもたち）を対象に自然体験活動を行う中で、生きる力や対人関係形成力、自己肯定感を継続的に育む事業を実施しました。

日時：2 月 8 日（土）11 時～15 時

2 月 9 日（日）　11 時～15 時

内容：①子どもたちとの顔合わせとアイスブレーキング

②子どもたち対象の自然体験活動

対象：高槻市内の児童養護施設の子どもたち（小学生・中学生）のべ 23 名

場所：摂津峡青少年キャンプ場

イ．児童養護施設プログラムのためのボランティア・スタッフ研修の実施

将来、学校の教職員や児童養護施設など教育関係や福祉、対人援助職を目指す学生を対象に、研修や実践を通して虐待や発達障がいに対するより深い理解と様々な背景を持つ子どもたちと関わる実践力を育むことを目的に開催しました。

テーマ：子どもたちの行動の背景にあるものに寄り添うために

対象：将来、教職員や福祉職などの教育関係、対人援助職を目指す学生　18 名

場所：富田ふれあい文化センター及び摂津峡青少年キャンプ場

ｉ.スタッフ研修

1. 日時：10 月 26 日(土)　午前 10 時～午後 5 時

内容：・児童養護施設の子どもたちの背景にあるもの <社会的養護と虐待への理解>

・チームビルディング <人間関係トレーニング>

２．日時：12 月 7 日(土)　午前 10 時～午後 5 時

内容：・対人援助をする援助者が子ども達に与える影響 ＜知識・スキル・人間性＞

・子どもたちの気持ちを受け止める <カウンセリングマインド研修>

3. 日時：1 月 11 日(土)　午前 10 時～午後 5 時

内容：・自己肯定感を高める援助者としての関わり

・スタッフの役割とミッション

４．日時：2 月 7 日(金)　午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

内容：・児童養護施設の職員さんからのオリエンテーション <施設の様子と子どもたちの特性>

・プログラム当日に向けて打ち合わせ

**５）ＣＳＷ（コミュニティソーシャルワーク）事業**

①コミュニティソーシャルワーク事業

中学校区でのフォーマル（公的機関）・インフォーマル（民間その他）の連携による支援ネットワークという長年培ってきたまちの財産を活かし、また発展しながら子どもから高齢者の困りごと相談への対応や解決、関係機関へのコーディネートを行いました。

ア．青少年の支援のための学校教育との連携

学習支援わんぴーす受講生やただいま食堂等の日々のケース対応に当たっては、当該の小、中学校と密に連携を図り、支援を行いました。また、深刻なケースに当たっては、市のＳＳＷやカンガルーの森などの関係機関等とも当法人の社会福祉士やスタッフが連携しケースカンファレンスを行いました。

イ．高齢者等住民支援のための関係機関との連携

高齢者の支援に当たっては富田ふれあい文化センターの介護相談員や地域の民生委員と連携し課題解決を行いました。また、よりネットワークを広げるため富田地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ出席しました。

**６）人材育成事業**

富田まちくらしづくりネットワークや地元自治会等への活動参加を行い地元住民のボランティア発掘

を行うとともに、多種多様な講座の開催をはじめ地域内外からの若年層のマンパワーの発掘のため平安女学院大学や大阪人間科学大学、関西大学、大阪大学等との連携を行う中で当法人のさまざまな事業のボランティア参画へとつなぎました。

**①連続講座「富田ものがたり」の開催**

富田地域内施設において業務として従事する方（行政職員、学校、幼稚園、保育所等教職員、民間施設職員等）やボランティア活動を行う方々を対象に、富田地域の特性や施設、団体の設立の背景や歴史に対する知識を深める連続講座を開催しました。

場所：高槻市立富田ふれあい文化センター小ホール

対象：富田地域の学校、施設、その他に従事する人、興味のある方

参加費：500 円／人＜資料代＞・学生　無料

ⅰ.「風をつかみカタチにする文化‐高槻富田地区包摂型のまちづくり」
・日時：6 月 18 日（火）18 時半～20 時半
・場所：富田ふれあい文化センター
・話：一般社団法人タウンスペース WAKWAK　岡本工介
・参加者：46 名

ⅱ. 教育領域「長年、子どもの支援に携わって」
・日時：6 月 27 日（木）18 時半～20 時半
・場所：富田ふれあい文化センター
・講師：富田小学校教員　大宅隆子さん
・参加者：36 名

ⅲ. まちづくり領域「富田のききとり絵本が語りかけるもの」
・日時：10 月 17 日（木）18 時半～20 時半

・場所：富田ふれあい文化センター
・講師：元第四中学校教員　村上民雄さん
　　風の子文庫主宰　朝日悦子さん
・参加者：30 名

ⅳ．保育領域「富田保育所での学びあい、育ちあった『保育の原点』とは」
・日時：10 月 31 日（木）18 時半～20 時半
・場所：富田ふれあい文化センター
・講師：元富田保育所所長　大南　峰子さん
・参加者：46 名

## Ⅴ．収益事業、その他事業

法人の社会貢献事業を支えるための持続的かつ安定した財政基盤を強化することを目的として以下の事業を行いました。

### １）富田地区視察の受け入れおよび講師派遣事業

市内外や他府県の行政機関や福祉施設等へ職員が講師として積極的に出向き、包摂型のまちづくりの実践談や人権啓発の推進を図りました。また、富田地区視察の受け入れを積極的に行いました。ここで得た報償費（収益）については、法人の安定的な基盤づくりに寄与するとともに法人の社会貢献事業へ循環するべく行っておりますが、今期は新型コロナウイルスの影響により 2 月以降の講演や視察が軒並み中止となるなど収益に大きな打撃を受けました。

**①スーパーバイズ等派遣**

| 業務内容 | 契約期間 | 依頼者 |
|---|---|---|
| 部落解放・人権大学第 115 期助言者派遣 | 10～3 月 | 部落解放人権研究所 |

②研修講師派遣

| | 事業名 | 日時 | 主催者 |
|---|---|---|---|
| 1 | 大阪第二人権擁護委員協議会総会記念講演 | 4 月 16 日（火） | 大阪第二人権擁護委員協議会 |
| 2 | 大阪こども・青少年施設等連絡会研修会 | 4 月 26 日（金） | 大阪こども･青少年施設等連絡会 |
| 3 | 摂津市人権協会総会記念講演 | 5 月 7 日（火） | 摂津市人権協会 |
| 4 | チャイルドラインボランティア養成講座 | 5 月 19 日（日） | （公財）子ども情報研究センター |
| 5 | 平安女学院大学短期大学「地域福祉原論」 | 5 月 28 日（火） | 平安女学院大学短期大学 |
| 6 | 蛍池人権から地域を考える集い | 5 月 31 日（金） | 蛍池小学校 |
| 7 | 中部同推協第４５回総会記念講演 | 6 月 1 日（土） | 亀岡市中部地区同和教育推進協議会 |
| 8 | 大阪人間科学大学「相談援助演習」 | 7 月 22 日（月） | 大阪人間科学大学 |
| 9 | 能勢町人権協会　人権啓発講座 | 7 月 23 日（火） | 能勢人権協会 |
| 10 | 大阪人間科学大学「SSW 論」 | 7 月 23 日（火） | 大阪人間科学大学 |
| 11 | 高槻市立赤大路小校内研修会 | 7 月 24 日（水） | 高槻市立赤大路小学校 |
| 12 | 広島県北部解放研総会記念講演 | 7 月 25 日（木） | 広島県北部解放研 |
| 13 | 三島人研同担研 | 8 月 1 日（木） | 三島地区人権教育研究協議会 |
| 14 | 第 46 回夏季研究会人権教育セミナー | 8 月 2 日（金） | 東大阪市人権教育研究会 |
| 15 | 尼崎サマーセミナー | 8 月 3 日（土） | 尼崎市 |
| 16 | 江府町人権・同和教育研修会 | 8 月 7 日（水） | 鳥取県江府市 |
| 17 | 人権・同和教育地域活性化に向けた<br>リーダー研修（益田会場） | 8 月 8 日（木） | 島根県教育委員会 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 18 | 人権・同和教育地域活性化に向けた<br>リーダー研修（松江会場） | 8 月 9 日（金） | 島根県教育委員会 |
| 19 | 人権同和教育講演会 | 8 月 21 日（水） | 岐阜県多治見市 |
| 20 | 私学人研第 41 回夏期研究会 | 8 月 16 日（金） | 大阪私立学校人権教育研究会 |
| 21 | 高槻支援学校校内研修会 | 8 月 28 日（水） | 高槻支援学校 |
| 22 | 日本福祉大学フォローアップセッション I | 9 月 15 日（日） | 日本福祉大学 |
| 23 | 大阪市立大学サロン DE 人権 | 9 月 18 日（水） | 大阪市立大学 |
| 24 | ぶらカフェ人材養成講座 | 9 月 21 日（土） | 部落解放同盟大阪府連合会 |
| 25 | 貝塚市人権入門セミナー | 10 月 4 日（金） | 貝塚市 |
| 26 | 広島県福山市第３７回城西校区人権学習講座 | 10 月 24 日（木） | 広島県福山市 |
| 27 | 高槻市立第四中学校教職員校内研修 | 10 月 30 日（水） | 高槻市立第四中学校 |
| 28 | 鳥取県大山町中山ふれあい文化祭記念講演 | 11 月 10 日（日） | 鳥取県大山町 |
| 29 | 常磐会学園大学人権教育研修会（1・2 回生） | 11 月 13 日（水） | 常磐会学園大学 |
| 30 | 常磐会学園大学人権教育研修会（3 回生） | 11 月 13 日（水） | 常磐会学園大学 |
| 31 | 乙訓人権擁護委員協議会研修会 | 11 月 21 日（木） | 乙訓地域擁護委員協議会 |
| 32 | 常磐会学園大学人権教育研修会（4 回生） | 11 月 26 日（火） | 常磐会学園大学 |
| 33 | 福井県庁人権講演会 | 11 月 29 日（金） | 福井県庁 |
| 34 | 泉南市人権週間「市民の集い」 | 12 月 1 日（日） | 泉南市人権推進課 |
| 35 | 高槻市食生活改善推進協議会 | 12 月 13 日（金） | 高槻市食生活改善推進協議会 |
| 36 | 「学習支援いっぽ」担当者研修 | 12 月 17 日（火） | 泉南市 NPO 法人ほしぞら |
| 37 | 茨木市天王中学校人権学習 | 12 月 18 日（水） | 茨木市立天王中学校 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 38 | 常磐会短期大学リーダー研修 | 2 月 12 日（水） | 常磐会短期大学 |

○第四中学校区/阿武野高校の地域学習等への派遣

| | | | |
|---|---|---|---|
| 39 | 高槻市立富田小学校 4 年生ゲストスピーカー<br>※9 月 10 日（火）マイタウンミーティングに参画<br>※コミュニティ再生事業のための「未来にわたり住み続けたい町」冊子を協働作成 | 5 月 29 日（水） | 高槻市立富田小学校 |
| 40 | 大阪府立阿武野高校生徒会 | 12 月 19 日（水） | 高槻市立富田ふれあい文化センター |

**2）富田地区の視察の受け入れ**

| | 視察受け入れ先 | 日時 |
|---|---|---|
| 1 | NTT 西日本グループ | 6 月 4 日（火） |
| 2 | 茨木市人権教育研究協議会部落問題専門部学習会 | 7 月 30 日（火） |
| 3 | 東京千代田区社会福祉協議会 | 8 月 22 日（木） |
| 4 | 平安女学院短期大学新谷ゼミ | 9 月 25 日（水） |
| 5 | 大阪府連北摂地区支部合同 FW | 9 月 28 日（土） |
| 6 | NTT ビジネスアソシエ西日本 | 10 月 7 日（月） |
| 7 | 龍谷大学社会学部現代福祉学科 4 回生 | 10 月 9 日（水） |
| 8 | 大阪大学人間科学部 4 回生 | 10 月 10 日（木） |
| 9 | 大阪大学人間科学研究科志水宏吉ゼミ | 10 月 23 日（水） |
| 10 | 私立学校人権教育研究会 | 10 月 25 日（金） |
| 11 | 大阪狭山市人権協会 | 10 月 29 日（火） |

| | | |
|---|---|---|
| 12 | 大阪同企連第 10 グループ | 11 月 22 日（金） |
| 13 | 泉南市 NPO 法人ほしぞら | 11 月 27 日（水） |
| 14 | 大阪府立大学工業高等専門学校 | 12 月 9 日（月） |
| 15 | 関西大学 4 回生 | 12 月 9 日（月） |
| 16 | 人間科学大社会福祉学科プレ演習 | 12 月 11 日（水） |
| 17 | 公益財団法人住吉隣保事業推進協会 | 1 月 23 日（水） |
| 18 | 部落解放人権大学 115 期 | 2 月 18 日（火） |

**4）事務受託事業**

部落解放同盟高槻富田支部、富田富寿栄老人会、富田地区企業者組合、人権ネットワーク、社会福祉法人つながり後援会・家族会ひだまりと事務受託契約を行い、計5団体の事務受託について適正に事業を執行致しました。

**5）マイノリティと出会う旅　スタディツアーの準備**

2020 年度以降に開催予定のアメリカ先住民居留区へのスタディツアーの開催に向け、法人事業に携わるスタッフとともにツアー準備会を開催しました。

期間：7 月 3 日（水）～7 月 17 日（水）

行先：アメリカ・サウスダコタ州　ネイティブアメリカン居留区ほか

内容：①マイノリティ　アメリカ先住民との出会い

②先住民の伝統的儀式のサポート

参加者：５名+1 名現地合流　同行

その他：その他のツアー先についても検討するとともに旅行業取扱管理者の取得についても検討しました。